

## Unicode変体仮名を用いた字形データベース「国語研変体仮名字形データベース」

間淵 洋子（言語変化研究領域 特任助教）

## 1. 「国語研変体仮名字形データベース」とは？

## ●概要

➢近世版本の字形画像を収録したデータベース。現在、『春色梅児と美（1832年刊）』『比翼連理花廻志満台（1836年刊か）』の初編各3巻（計6巻）、約4万2千字（平仮名の異なり字数135字、延べ字数約3万字）を収録。

➢国語研ホームページで試験公開中（無償）。<https://cid.ninjal.ac.jp/hentaiganaDB/index.html>

## ●特長

➢平仮名（変体仮名）を、音価・字母・Unicode10.0（Unicode変体仮名）による3階層で分類して表示。

➢各字形画像の出典ページ画像との相互リンク、「学術情報交換用変体仮名」サイトへのリンクなどを有する。

## 2. 使い方（1）字体一覧から探す

1. トップページに中ほどの「変体仮名字形データベース」をクリック
2. 左側のメニューから目的の文字種（平仮名・片仮名・漢字など）を選択し展開
3. 【平仮名の場合】50音順に並んでいるリストから目的の音価（現行平仮名）または仮名字体を選択し、字形画像を展開
4. 出典ごとに先頭行のみが表示されるので、作品名横の「+」をクリックして展開
5. 各字形画像をクリックすることで、原資料をページ単位で閲覧可能（文字位置を矩形表示）

文字検索  
も可能

展開して全例表示

「学術情報交換用変体仮名」  
サイトにリンク

文字メニュー

クリックして  
原資料を表示  
⇒文脈を確認特定の字体について  
体系的に深く知る当該文字を  
矩形で表示

## 3. 使い方（2）資料本文画像から探す

1. トップページに中ほどの「資料一覧」にリストされている資料から目的の資料をクリック
2. 資料画像の上の「次のページ」をクリックしてページを進める（「前のページ」をクリックして戻る）
3. 文字の上にカーソルを合わせると、翻字（現行文字による表記）が表示される
4. 文字を選んでクリックすると字形画像一覧にジャンプする
5. ページ上方「翻刻一行表示」タブを選択すると、1行単位で翻刻文字列が表示される（初期状態は「字形矩形表示」）

1行単位の翻刻表示にする

クリックして  
次のページへクリックして  
字形画像一覧  
にジャンプ文字上にカーソルを  
合わせて翻字を表示原文を読み進めながら  
知りたい文字について  
データベースを参照

## 5. 応用と今後の展開

## ●応用

➢くずし字や変体仮名の学習に利用可能（特定字体を体系的に学習する&原文を翻字と照合しながら読み進める）

➢仮名の字体研究に利用可能（仮名字体の使い分け、実使用の計量調査、字形とUnicode変体仮名字体への割り当て等）

## ●今後の展開

➢収録作品の多様性（作品、時代、形態など）を確保しデータを拡充する。関連する外部リンクを追加する。

➢モバイル端末（スマホ、タブレット等）での利用を快適にするために、レスポンスWebデザインに対応する。